

科目ナンバリング		U-LAS22 20001 SO48									
授業科目名 ＜英訳＞		フランス語II A F2106 Intermediate French A				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 西山 教行			
群	外国語科目群			分野(分類)					使用言語	日本語及びフランス語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	水3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
＜フランス文化＞ フランス語はフランスで生まれた言語ですが、現在ではフランスだけではなく世界の各地でさまざまな歴史的、また文化的理由から話されています。この授業ではフランス語の展開を歴史的、または地理的観点からたどり、とりわけフランコフォニーという運動の中からフランス語の動向を考えます。											
[到達目標]											
読解を通じて初級文法の知識を確実なものにすると共に、比較的やさしい表現を使いながらまとまりのある文章を読解することがこの授業の目標です。											
[授業計画と内容]											
授業は受講者による発表を中心とします。毎回、2ページ強を進みます。また授業のはじめに復習を兼ねてディクテ（書き取り試験）を行います。一回の授業で下記の項目をひとつあるいは2つ、取り上げる OIFフランコフォニー国際機構 レオポール・セダール・サンゴールについて フランス語の起源について フランス語の歴史について 17世紀から18世紀にかけてのフランス語について 16世紀から18世紀にいたるフランス語の歴史 近現代社会の中でのフランス語の普及について ベルギーのフランス語 ベルギーの言語対立について スイスの言語事情について フランスのイメージとスイスとフランスの関係をめぐって アルジェリアとフランス語 アルジェリアとアルベール・カミュ 標準フランス語 カナダのフランス語の特徴 カナダ人の言語生活について ケベックのフランス語政策について ケベックの映画とフランス語との関連 ケベックの歌手たち ハイチの歴史 ハイチ人の移住について											
----- フランス語II A F2106(2)へ続く↓↓↓											

フランス語ⅡA F2106(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

評価は発表に加えて、試験などによる総合評価とします。詳しくは授業で説明します。

[教科書]

フランコフォニーとはなにか（コピー教材を配布します。）

[授業外学修（予習・復習）等]

受講者は毎回きちんと予習を行うこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]